



## 長く続けていること

### 濱岡 洋一郎

NSホールディングス  
取締役社長

長く不動産の仕事にかかわってきました。皮切りは最初に入社した三井不動産に24年間勤務した後、縁あって外資系不動産会社のジョーンズラングラサルに入り12年半社長を務めました。今は4社の社外役員等をしなが、起業した会社でヘルスケアのファンド事業を営んでいます。扱う対象のプロジェクトはさまざまですが、不動産という切り口では一貫してこの領域で生きてきました。

もう一つ長く続けていることに空手があります。33歳の時にアメリカに駐在したのですが、障がいのある子どもを抱えての赴任でしたので、不安でいっぱいだったのを今でも覚えています。ちょうどロサンゼルス空港に初めて降り立った時、なぜか急に“父親は強くあらねばならない”と思立ち、単純明快な私は、迷わずある空手道場の門をくぐったのでした。

今まで節目節目でいろいろな縁に恵まれてきましたが、この時も本当に偶然に早稲田大学の先輩が主宰している道場に飛び込み、その縁を大事に今日に至っています。この道場の主宰者である大島 勸 師範との出会いが私の人生を変えたと言っても過言ではないと思っています。師範は、私が生まれた昭和28年に早稲田大学空手部の主将をしておられ、その後アメリカに渡られて今日に至るまで指導を続けておられます。

師範は、知性と教養に裏打ちされた人間力をお持ちで、それが空手を通じて自らの世界をインターナショナルに広げることにつながったのだと思います。証左に、アメリカに100を超える道場(松濤館大島道場)を持ち、そのほかカナダ、フランス、イスラエル、スペイン、ベルギー、オランダ、香港等々、十数カ国にも道場を持っています。もちろん日本にもあります。ですから海外出張があると、道着さえ持っていけば国境を越えて全国各地の道場で、現地のお弟子さんたちと汗を流すことができるのです。

私も気が付けばもう27年間空手を続けています。大島師範の足元にも及ばない自分ですが、指導を通じて少しでも師範のエッセンスを伝えられたらと思っています。空手の呼吸や騎馬立はどうもゴルフにも通じるような気がします。ただ、なかなか結果に結び付かないのも事実です。

いろいろな職業の老若男女と共に汗を流せるこの武道とは、還暦を過ぎてもまだまだ付き合いが続きそうです。